

CO遺族協定闘争を闘い抜こう

遺族会と家族会が総会で

遺族会(溝口生松会長)とCO患者家族の会(石原マサ子会長)は、このほどそれぞれ総会を開き、当面するCO・遺族協定改訂闘争を最後まで闘い抜くことを固く決意した。

家族会の総会から

九月二十一日、CO患者家族の会(石原マサ子会長)は、このほどそれぞれ総会を開き、当面するCO・遺族協定改訂闘争を最後まで闘い抜くことを固く決意した。

九月二十一日、CO患者家族の会(石原マサ子会長)は、このほどそれぞれ総会を開き、当面するCO・遺族協定改訂闘争を最後まで闘い抜くことを固く決意した。

遺族会の総会から

九月二十一日午後一時から、遺族会(溝口生松会長)は、このほどそれぞれ総会を開き、当面するCO・遺族協定改訂闘争を最後まで闘い抜くことを固く決意した。

家族会新役員

先日、有明炭鉱で重大災害が起きました。職員の労働条件がますます悪くなっている証拠で、会社は今後も労働者を傷つけ、殺し続けようとしている。

この項はCO患者家族の会会長の石原マサ子さん提供です。

遺族会(溝口生松会長)は、このほどそれぞれ総会を開き、当面するCO・遺族協定改訂闘争を最後まで闘い抜くことを固く決意した。

遺族会(溝口生松会長)は、このほどそれぞれ総会を開き、当面するCO・遺族協定改訂闘争を最後まで闘い抜くことを固く決意した。

遺族会新役員

遺族会(溝口生松会長)は、このほどそれぞれ総会を開き、当面するCO・遺族協定改訂闘争を最後まで闘い抜くことを固く決意した。

遺族会(溝口生松会長)は、このほどそれぞれ総会を開き、当面するCO・遺族協定改訂闘争を最後まで闘い抜くことを固く決意した。

遺族会(溝口生松会長)は、このほどそれぞれ総会を開き、当面するCO・遺族協定改訂闘争を最後まで闘い抜くことを固く決意した。

両誘致工場に見る現状は?

退職金わずか50万

勤続なんと17年で

三池製

遺族が働いている一つの誘致工場、三池製鋼工場では退職者が相次ぎ、重労働と低賃金を何とか改善してもらいたい、との悲鳴も似たり散らかり始めている。

遺族・CO協定の改訂期に際し、何とかしてもらいたい。たった三万円程度の日給なのに、そのなかからバス乗車賃は一日四角八十円、全額個人負担はなみだりではない。

三月に定年で退職する者は、先づきのことと思

今度頑張りねば

黙ってはいられない

アソニツト

アソニツトに定年制を逆提案さ

アソニツトに定年制を逆提案さ

原告団消息

遺族会、三池製鋼工場

遺族会、三池製鋼工場

遺族会、三池製鋼工場

遺族会、三池製鋼工場

遺族会、三池製鋼工場

遺族会、三池製鋼工場

労働災害絶滅めざそう

法廷での、会社のまき返し許さぬ

大災害裁判原告団の決意表明

先週、新労組員の一人、炭鉱労働者が殺され、三十七名の重傷者が出た。そのなかには、連日負傷者を出している三池炭鉱の分も含まれている。

現在、炭鉱労働者の命は安んず、あつかわれている例はなく、それでいて、押しつけられる最低賃金で、その生活を維持していくだけ、という状況だ。

裁判も、長くなりました。原告も三分の二の人が定年のため退職し、なかには七十歳に近い人さえいます。

現在法廷で進んでいる吉田先生(昭和病院長。組合側証人)に対する、会社側代理弁護士の反対尋問は、相等に研究と準備をされてきており、明らかに巻き返しをねらったものです。

三池炭坑内火災より十三年、その九月二十八日がきました。災害の資本責任を追及し、労働者とその家族の生命と生活を守るために、毎年この日、ここで抗議集会を開き、あわせて、この災害で犠牲にされた故郷村の遺族を原告として損害賠償請求の裁判を起し、闘ってきました。

故郷の奥さん、とりわけふくまされたバーチャンがきまって参加されている姿を見るたびに、どうして裁判に勝たねばならぬと決意を新たにできたものでした。

裁判の方は「和解」ということで決着がつきました。ただ、すっきりした形で会社の責任を問うた解決にはならなかったことは残念でなりません。

私たちが常々訴えてきた「再び災害をくり返すな」ということは、裁判で、たとえどのような結果が出ようと呼び続けなければなりません。現実が、それを求めている。

右は、坑内火災被災患者の一人、炭坑の資料によれば、昭和五十年一月より五十四年十二月まで